

**「保健医療科学」  
第56巻 第1号 予告**

**健康を支える水**

健康を支える水 .....	武藤芳照
災害と水 .....	秋葉道宏
水を介した健康被害 .....	秋葉道宏, 山田俊郎
水環境および飲料水の微生物汚染 .....	保坂三継
飲料水安全管理の課題 .....	立川裕隆

**編 集 後 記**

医療費適正化計画に関わる研修として、国立保健医療科学院では2006年7月に4週間、そして2007年1月に2週間、「総合医療政策研修」と称して、全都道府県からの担当者を対象に辻厚生労働事務次官をはじめ厚生労働省の担当官および国立保健医療科学院のスタッフが協力して研修を行った。ほとんどの研修参加者が科学院の寮に泊まり込み、まさに同じ釜のめしを食いながら全国の同士が、よりよい医療の提供体制について総合的に学び、議論するというこれまでにない初めての機会であった。医療・福祉の需要がますます高まっていく今後の高齢化社会にむけて、限られた資源でどのように対応していくべきなのか。大変な難問であり、このような研修を通して明確な答えは得られていないであろうが、少なくとも解決していくための基盤として、全国の都道府県が一緒になって情報を交換・共有し、厚生労働省と科学院も支援しながら、取り組んでいく機会が造られたのではないかと思う。

医療費適正化の課題は、この研修の名前に示されていたように総合的かつ横断的に取り組まなければ、真の目標は達せられないと思う。部分最適の集合体は全体最適とはならない。厚生労働省も各都道府県も（そして科学院も）これまでにない組織体制で取り組むことが望まれている。

最後に、この号はそのような研修の最中であつ日々その内容に関して更新されていくという大変忙しく、かつ流動的である中で行われ、ご執筆にご協力頂いた皆様には大変ご苦勞をおかけしたことと思う。この場をかりて深く感謝申し上げたい。

(種田 憲一郎)

## 「保健医療科学」投稿規程

### 1. 投稿論文

公衆衛生および社会福祉の向上, 普及に資する研究, および活動報告とし, 「保健医療科学」編集委員会が掲載内容を決定する (掲載は無料)。ただし, 他誌に発表 (予定も含む) された論文は掲載しない。

### 2. 種類, 内容及び制限項数

論壇 (Commentaries)

: 公衆衛生および社会福祉の活動, 政策, 動向などについての提案, 提言 [5頁以内]

総説 (Reviews)

: 研究・調査論文の総括及び解説 [12頁以内]

原著 (Original Articles)

: 独創的な研究にもとづく新知見を含む論文 [10頁以内]

ノート (Notes)

: 原著に比べて簡単で若干の新知見を含むもの [5頁以内]

資料 (Research Data)

: 調査または統計などをまとめたもの [8頁以内]

現場報告 (News from the Field)

: 国内外の公衆衛生および社会福祉に関する実践, 教育, 研究などの報告 [5頁以内]

レター (Letters)

: 掲載論文に対する意見など [1頁以内]

書評 (Book Reviews)

: 公衆衛生および社会福祉に関する図書などの紹介 [1頁以内]

\*なお, 刷り上り1項は2,600字相当

### 3. 発行頻度

年4回発行し, 4号分をもって1巻とする。また必要に応じて補冊 (Supplement) を発行する。

### 4. 投稿方法

「投稿申込書」(様式1) を添えて, 原本ならびに明瞭なコピーを2部提出する。なお, 原図, 写真などは汚損を避けるため別にコピー2部を提出する。

なお, 執筆要領については別に定める。

### 5. 原稿採否

投稿論文の採否は, 複数の専門家による査読の結果に基づき, 編集委員会にて決定する。

### 6. 別刷り

50部までは無料。51部以上は著者負担とする。また掲載誌1部を贈呈する。

### 7. 校正

著者校正は初校までとし, 脱落, 誤植などの校正とする。原文および図表等の大幅な訂正などは認めない。

### 8. 著作権

本誌の著作権は本院に属する。なお, 他誌などにその全部または一部を使用する場合は本編集委員会の同意を必要とする。

### 9. 投稿先

「保健医療科学」編集委員会

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

TEL. 048-458-6209 FAX. 048-469-0326

(平成17年2月3日)